

Today's News

強磁場分野の最大の国際会議であるResearch in High Magnetic Fields 2009がドイツのドレスデンで7月22-26日の予定ではじまりました。本特定研究からも多数の研究者が成果発表のために参加しています。この会議は2006年には仙台において開催され、特定領域の序盤の成果をアピールする場となりました。今回は、最終年度をむかえて、その成果を世界にアピールすることが期待されています。

7月23日は開会セレモニーの後、早速超伝導のセッションで宇治博士の発表が行われ、夕方にはポスターセッションの第一回目も開催されました。招待講演および口頭発表では、本特定から6名の発表が行われ、磁性、半導体、重い電子系、測定技術、有機導体など多数の分野で数十件のポスター発表も予定されています。

会議終了後開催された組織委員会では、次回は2012年に武漢で開催することが了承されました。



ポスター発表会場の様子



ドレスデンの町並み

Announce

現在登録した研究成果確認のため、リストを個人毎にお送りしていますので、点検の上、積極的に成果登録をお願いいたします。

強磁場スピン科学ホームページ : <http://spin100.imr.tohoku.ac.jp>

All rights reserved. Copyright Application of High Field Spin Science in 100T